

令和7年度 学校運営に関するアンケート（評価）

《学校教育目標》

健康で豊かな心を持ち、自ら学び続ける平岡っ子の育成
～子供たちの未来を見据えた、自立して生きる力につながる教育の実践～

《基本方針》

「知」「徳」「体」のバランスのとれた子供の育成をめざす

《重点実践目標》

◎時間をまもる ◎人を傷つけない ◎自分を傷つけない

《めざす児童像》

達成状況について

アンケートのAとBを足した数を表記

(Aあてはまる Bだいたいあてはまる Cどちらかというあてはまらない Dあてはまらない)

評価について

A・・・85%以上、B・・・84～60%、C・・・59～30、D・・・29以下 として評価

◎よく考える子 ◎助け合う子 ◎たくましい子 ◎やりぬく子

	重点目標	質問項目（児童・保護者アンケート）	達成状況	成果と改善の方策	総合	外部評価
◎よく考える子	<ul style="list-style-type: none"> 協同的探究学習の推進 さまざまな教科での研究推進 兵庫型学習システムの効果的な活用 基本的な生活習慣の確立 ICTの活用 GIGAスクール構想実現に向けた取組とクロームブックの活用推進 	保 子どもに読み書き計算などの基礎学力は定着していますか。	A 86	<p>○教師の指導力向上を図るために、ICTや実技指導等を含む実践的な職員研修を実施するとともに、研究授業等を通して教材研究に注力した。</p> <p>○児童が自ら課題や問いをもって主体的に学習に取り組む姿が見られ始めており、ICTの活用により、自分のペースで学び進める姿が見られた。</p> <p>→クロームブックを用いて、学校の授業と家庭学習の効果的な連携を目指し、家庭学習の定着を図る。</p> <p>→児童の読書習慣の定着に向けて、図書委員会の活性化、図書室の充実、朝学習での読書タイムの継続など、児童が読書に触れる機会を増やす。</p>	B	<p>ICTによる学力定着を評価する一方、読書不足にはスマホ等の影響が懸念される。今後は、学校の授業と家庭学習がバラバラにならないよう、クロームブックを持ち帰り宿題や復習に活用するなど、「学校と家庭を学びでつなぐ」取り組みに期待したい。端末を「遊び」ではなく「学びの道具」とするため、大人が本を読む姿を見せるなど、家庭と学校が協力して、活字に親しみ自ら考える環境作りに努める必要がある。</p>
		児 本を読むのは好きですか。	B 66			
		保 家庭での子どもの読書習慣は身につけていますか。	C 42			
		児 家ですすんで宿題をしていますか。	A 85			
		保 子どもは進んで学習していますか。	B 67			
		児 学校ですすんで勉強できていますか。	A 89			
		保 子どもは、学校の授業はよくわかっていますか。	A 88			
		児 授業はわかりやすいですか。	A 92			
		保 学校のICT教育は推進されていますか。	A 95			
		児 クロームブックを正しく使えていますか。	A 94			
◎助け合う子	<ul style="list-style-type: none"> 道徳科学習の充実 生徒指導の充実 異学年交流の推進 特別支援教育の推進 	保 子どもは、進んであいさつをしていますか。	B 79	<p>○教職員によりあいさつの励行だけでなく、計画委員会を中心としたあいさつ運動により、あいさつの習慣が学校全体に広がってきた。</p> <p>○もくもく清掃の定着により、自己の役割を自覚し、学校環境を整えようとする公共心の高まりが見られた。</p> <p>→学校でのあいさつの習慣が社会生活でも実践できるよう、道徳科の学習や校外学習やゲストティーチャーの来校時を利用して指導していく。</p>	A	<p>隣接する幼稚園との交流は、園児の憧れと6年生の自己有用感を育む貴重な機会であり、継続を望む。また、道徳のローテーション授業は、児童が多様な価値観に触れる上で有効な試みである。挨拶等の習慣化に向け、学校と地域が一体となった温かい見守りと、道徳的実践力の育成を今後も期待したい。</p>
		児 先生や友達、地域の人にあいさつをしていますか。	A 90			
		保 子どもは、思いやりの心や親切な態度が育ってきていると思いますか。	A 92			
		児 友だちと協力できていますか。	A 93			
		児 そうじの時間にいっしょうけんめいそうじをしていますか。	A 96			
保 学校行事は適正に実施されていますか。	A 100					
◎たくましい子・やりぬく子	<ul style="list-style-type: none"> 「かこがわウェルネス手帳」、県の動画サイトの活用 食育の推進 平岡っ子体力向上プログラムの実践 	保 学校は子どもの健康や安全について配慮していますか。	A 97	<p>○基本的な生活習慣が身につけており、健康で安全な生活を送るための素地はできている。</p> <p>○児童の怪我や体調不良等、学校と保護者が密に連絡を取り、児童が安全に健康に生活できている。</p> <p>→難しい課題でも児童が粘り強く取り組めるように、スモールステップの設定や過程を認める称賛の声掛けや教師の待つ姿勢を大切に指導にあたる。</p>	A	<p>学校の自動水栓化や公園の利用制限等の社会環境の変化が、児童の握力や運動能力低下に影響しているとの危惧を共有した。地域として運動場所の提供等に努め、学校の体力向上プログラムと連携して子どもの健やかな成長を支えたい。</p>
		児 毎日、朝ごはんを食べていますか。	A 94			
		保 子どもは、何事もあきらめず最後までがんばっていますか。	A 86			
		児 最後まで粘り強くあきらめず、がんばられていますか。	A 88			
◎安心・安全で地域とともにある学校	<ul style="list-style-type: none"> 段階的な防災訓練、防犯訓練の実施 「平岡小学校学校運営協議会」の充実 学校園連携ユニットの推進 学校だより、学年だよりの発行と39メールからスクリレへの移行、ホームページによる情報発信 「学校支援ボランティア」の活用による地域連携推進 	保 子どもは、きまりを守って生活できていますか。	A 88	<p>○全校朝会や学年集会などを用いて、全体指導を行い、規則の順守に向けて児童に指導を行った。</p> <p>○教職員と児童会の子供たちが廊下に立ち、歩くように声をかけ、校舎内の怪我が少なくなった。</p> <p>○安全点検をもとに、用務員と学校ボランティアの連携により校地環境を適切に整えている。</p> <p>→安全点検の項目を各場所に合ったものに変更し、施設設備の経年劣化や利用実態に即した点検項目へ見直しを行い、未然防止の観点から安全管理体制の更なる高度化を図る。</p>	A	<p>児童会と共に校則を見直そうとする「自治」の推進を高く支持する。スクリレ活用等のデジタル化は、SDGsや業務効率化の観点から好適であり、それにより生じた時間を児童との活動に充てる方針を評価する。今後は、高学年の生活習慣等の課題に対し、自律を促す粘り強い指導と環境整備の継続を期待したい。</p>
		児 「平岡っ子のくらし」や学校のきまりを守っていますか。	A 95			
		保 学校の環境は整備されていますか。	A 95			
		保 学校は適切に情報を発信していますか。	A 98			
◎いのちを大切にすることの推進	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ防止対策改善プログラム」の推進によるいじめの未然防止と早期発見・早期対応 道徳教育、人権教育の充実 確かな児童理解に基づいた生徒指導の推進---内面理解、情報の共有、不登校対策の徹底 「アセス」「教育相談」「こころの健康チェック」を活用した一人一人を大切にすることの推進 各学年に応じた系統的な学習の実施 交通安全、インターネットトラブル防止、禁煙、防犯、薬物乱用防止の教室 特別支援教育・教育相談各コーディネータ、SC、S・SWの積極的活用と関係機関との連携推進 	保 子どもは、学校へ行くのが楽しそうですか。	A 91	<p>○学習、生活、行事とバランスの良い教育活動の実践により、児童の自己有用感及び満足感につながっている。</p> <p>○学習に集中するため、安全に生活するため学用品や周囲の環境を整えることが大切であることを教職員全体で確認し、指導している。</p> <p>→児童の困り感に対して、担任だけでなくすべての教職員が関わっていけるように、今後も継続して取り組んでいく。児童の心のケアについて、スクールカウンセラーやコーディネータとの連携をし、適切な手立てを図るようにする。</p>	A	<p>「先生に相談する」という行動に対し、自立を促す家庭の願いと、早期相談を望む学校側の思いを共有した。昨今の指導の難しさを背景としつつも、児童が性格や内容に応じて「相談できる場」を確保することの重要性を確認した。保護者と学校が対立ではなく、児童の幸せのために「共に考える」協力体制を築くことを強く期待する。</p>
		児 学校でみんなと一緒に勉強するのは楽しいですか。	A 99			
		児 身の回りを整えることができましたか。	A 87			
		保 学校は、子どものことで相談しやすいですか。	A 93			
		児 こまったときに、先生に相談しますか。	B 74			
		児 時間を守って生活していますか。	A 93			